

⑤安全体制の確立について。

こちらからの最後の質問ですけれども、安全体制の確立について、どうお考えなのかをお聞かせください。

(荒木さん)

私が言うより、2005年のトラブルが続いたときに柳田さん、畑村さんなど5人のメンバーで構成する「安全アドバイザーグループ」が、すでに提言しておられます。

このグループは、安全に関し経営に対して提言をしていくことを目的に設けられたものですが、2009年12月に出された提言書の最新版の中で、「社員の活気や意欲、自由な創造性、自由にものを言える職場、業務のあり方や将来について議論する機会のある職場などは、すべて安全の基盤である」、とはっきり述べておられます。その通りだと思います。私はこの会社に三十数年いましたが、「不安全でいい」とか「危険でいい」なんて言った人は、経営者で一人もいませんでした。

しかし、「安全だ。安全だ。安全が第一」と言うだけでは、皆さんご存じの通りいろんな事故が残念ながら過去に起きています。

犠牲者の数はクルーを含めて780人に達しています。いくら「安全」とお題目を唱えても、「安全」は守れません。

現場の人はもちろん間接部門の人も含めて全社的に、自律的な「職業に対する意欲」が高くないと、人間は間違いを起こしやすくなります。それは懲罰的な日勤教育の影響下で起こったとされるJR福知山線脱線事故等の事例を見れば明らかでしょう。

私自身もかつて、何回か間違いを犯したことがあります。幸いに熟練した副操縦士、あるいは航空機関士からの助言でトラブルを回避することができたという体験があります。

誰かが止めることのできる環境、これが大事だと思います。

(丸山さん)

安全というのは、航空会社の仕事をされた方は誰でも分かるハナシなんだけれども。卑近な例でいうと、原発事故を見ているとよく分かりますよね。あれ、何であんなふうになっちゃったのかしら。

安全神話に自分が酔いしれてしまっって、“原発事故は起きない”という前提に立っているからおかしくなった。私の見ているところでは、東電にはマニュアルがないんじゃないでしょうか。エマージェンシー・チェックリストみたいなものはないんじゃないか、と思います。最初、水素爆発を起こしたときには、水をジャバジャバかけて、しかも海水をかけた

から、原子炉が製塩機になって、結果的に塩が溜まっちゃって大変なことになり、今度は塩を抜けとかいだけだ始末、冗談じゃないよ。こりゃ大変、真水を使えということで、フランスから何たらいう浄化システムを買ってきて、これで冷却するんだと言っはみたが、その機械が片っ端から壊れて、一週間くらいすると必ずどこかが壊れている。

フランスは大儲けしたかも分かんないけどね。この状況は、政府や東電が口では安全を唱えてはいるけど、本当は何の備えもなかったということの証明だと思います。

私は原発事故への対応を見ていると、腹が立ってきて。おまけに、被災者に対する行政の対応がひどいだけになお更です。

自分のことで申し訳ないんですが、私は町内会長やってたから、独断ですぐ義捐金を拠出したんです。あとで町内の皆さんに怒られたら、俺が責任被りゃ済むハナシだからと思ってやったら、何のことはない、義捐金が1,000億円以上集まっているけど、まだ4分の1しか現地に届いていない。ごく最近のハナシですよ。3月にあの事故が起きて、4月になっても5月になっても、義捐金が届いていないというハナシも出てきたんで、アタマに来ちゃってね。やっぱりこれは直接行くしかないということで、現地に行きましたよ。私は3回福島県の南相馬市に行きましたが、クルマ3台を陸送して、私のクルマをあげたわけじゃなくて、クルマを只でくれるという人がいたものだから、飛行機の運転手もできるけど、クルマの運転手もできるから、それを陸送して寄贈し、支援物資も運んで行ってきました。

しかし、現地に行ってみないと分からないことがいっぱいありまして、現地の連中は「カネがない」、「義捐金なんか一銭も貰ってない」って言うから、「お前さんたち、どうやって暮らしているんだ？」って聞いたら、現地の若者でつくった「フロンティア南相馬」っていう人たちがやっているボランティア組織、20代の人が中心で頑張っている組織ですが、ほとんどの人が失業中で無収入ですよ。おまけに行政からの助成金も出ません。妻子のある人は、奥さんが子供を放射能から守るために他県の実家に避難、旦那は南相馬に居残って原発別居を余儀なくされていました。

「お前さんたち、どうやってメシ喰ってんだ？」って聞いたら、「親のスネかじってる」って言うんですよ。来月の電話代

をどう都合しようか、というほどの酷い状況なので、「それじゃあしょうがないから、あちこちからちょっとカネ集めてみる。」と大見得を切って、横浜に帰ってから知り合いにカンパを頼んでみましたが、これが結構集まりました。「世のため、人のためだから」って言うと、カネが集まる。殺し文句は「俺への香典の先払いだと思って頼む」と言えば、みんな笑って協力してくれましたが、振り込め詐欺ってこんなに簡単なものか、と思ったほどです。調子に乗ってどんどんやっていたら、北は北海道から南は沖縄まで、外国は韓国や中国からも、合計で100万円くらい集まりましたが、世知辛い世の中とはいえ、いまだに人情も捨てたもんじゃなと感じましたねえ。

でも、現地に行ってみて分かった。行政がいかに怠慢かということが分かった。何にもモノが届かない。3回目には郡山市にも寄ってみました。あそこはけっこう放射能汚染がひどいところなんだけど、その「ビッグ・パレット」っていう、2、3日前かな、皇太子ご夫妻もいらしたところなんですけれども、大きなイベントホールの中を仕切って。仕切ってといたって、段ボールで仕切って、それが日ごとに、毎日のように仕切りの段ボールの高さが高くなっている。いまは高い堀みたいになっていますよ。でもね、そんななかで被災者は暮らしているんです。

私が現地に最初に行ったのは、5月の連休のあとだから、まだどこも泊まる場所がなく、体育館に寝袋を持って行って、それに入って寝ていました。初めての体験だけど寝袋ってけっこう暖かい。だけど、夏は大変だろうなと思いましたね。高温多湿のこれからが大変ですよ。それなのに、避難所に住んでいる人がなかなか出て行かない。なぜ出て行かないのか？ 仮設住宅が出来ても、そちらに入りたがらない。仮設住宅に入っちゃうと、家賃は只だけど、電気、ガス、水道、は自分で払わなきゃいけない。それから、無収入なのに、食事代も自分で払わなきゃいけない。だけど、避難所にいる限りは全部只なんです。けっこうお年寄りの人が多いので、支援がない限り、無気力にならざるを得ません。

「収入がないんだから、ずっとここに居ます」って、そういう状況になっているんです。

それから、町、町そのものの状況も悲惨です。郡山なんかはかなり大きな町だからまだいいけど、原発のすぐそばにある、南相馬市などは人口が半分になっちゃった。私も立ち入り禁止の20キロ境界線のところまで行ってみましたが、電車は勿論走っていない、常磐線は走っていない。それから、バスが走っていない。移動する手段がないんですよ。で、しょうがないからタクシーに乗ろうと思ったけど、タクシーも

走っていない。結局、ボランティアの人にクルマで連れてってもらいました。

従業員がほとんど避難しちゃって、人口が半分になっているからお客さんもないということで、食べもの屋も震災後の2ヶ月間くらいは開いていなかった。宿泊施設も食べるどころもほとんどない。

「コンビニがやっと開きましたよ。このあいだまで、コンビニもやってなかったんですよ」って言ってました。コンビニエンス・ストアに最初に入荷したのは、牛乳とバナナだけ。これはなぜか栄養のバランスがいいということで、そればかり送られてきたらしいですね。「もうコンビニの棚がバナナの山でした。壮観でした」って言われました。

ボランティアの人たちに言わせると、「バナナと、焼き鳥の缶詰と、カップラーメン、これは一生分食べました。毎日そればかりです」という状況だったそうです。

そういう生活でカネもないのに、ボランティアの人たちは頑張っている。そういう事態を、よくも行政がほったらかしにできるものだと思腹が立ちました。ひどいハナシだと思いましたね。「2ヶ月経ってコンビニがやっと開きました。セブンイレブンがエイトエイトです」って言うんでね「それ何のこと？」って訊いたら、8時から8時までしかやってない。看板はセブンイレブンなんだけど、多くの従業員が避難しちゃって人手が足りないんだそうです。どこの店に行っても、みんな早く閉めるし、閉店・休業の店が圧倒的に多いんだけど、開けている店も営業時間が極端に短くなっている。

日常生活も大変なんです。それが震災から2ヶ月、3ヶ月経っても続いているんですよ。よくこんな状況をほったらかしにしてくれるよな。どこかの会社みたいだなあとつくづく思いました。

政府の発表では、「メルトダウンの可能性を否定できない」とか、「直ちに健康に影響を及ぼすものではない」とか言いますが、何故メルトダウンしていると認めないのでしょうか？ また、直ちに影響があったら大変じゃないですか、死じゃうじゃねえかって。私なんかに言わせればそういうことなんだけど、とにかく国や東電の発表には嘘やまやかしが多すぎます。この国の政治は、人間の尊厳みたいなものを平気で踏みじるところがある、と思っています。もたもたしていると、とんでもない世の中になるから、やっぱりブログは続けて、看板を下ろさないで頑張ろうと思っています。

ブログは週1回のペースで更新しますが、第100号は明日更新しますので、よろしくお願ひします。